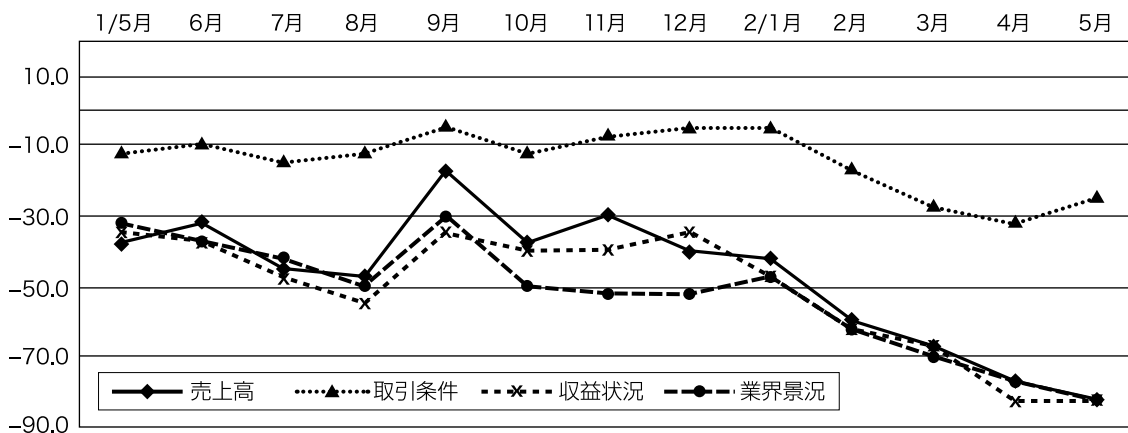


業界の今

情報連絡員報告より
5月の業界の動き

◆ 令和2年5月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



| | 1/5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 増減 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 売上高 | -37.5 | -32.5 | -45.0 | -47.5 | -17.5 | -37.5 | -30.0 | -40.0 | -42.5 | -60.0 | -67.5 | -77.5 | -82.5 | -5.0 |
| 取引条件 | -12.5 | -10.0 | -15.0 | -12.5 | -5.0 | -12.5 | -7.5 | -5.0 | -5.0 | -17.5 | -27.5 | -32.5 | -25.0 | 7.5 |
| 収益状況 | -35.0 | -37.5 | -47.5 | -55.0 | -35.0 | -40.0 | -40.0 | -35.0 | -47.5 | -62.5 | -67.5 | -82.5 | -82.5 | 0.0 |
| 業界景況 | -32.5 | -37.5 | -42.5 | -50.0 | -30.0 | -50.0 | -52.5 | -52.5 | -47.5 | -62.5 | -70.0 | -77.5 | -82.5 | -5.0 |

概要

令和2年5月の前年同月比DI値は、「売上高」、「収益状況」、「業界景況」が-82.5ポイントとなっており、リーマンショック時を超える、あるいはそれに近い低水準である。推移は前月に比べ、「取引条件」は7.5ポイント上昇したが、「収益状況」は変わらず、「業界景況」、「売上高」は-5.0ポイント悪化しており、依然悪化傾向が続いている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、業界の景況感は製造業・非製造業問わず全体的に深刻な状況が続いており、緊急非常事態宣言による売上低迷が、解除後もほとんど回復していない。中小企業の先行きは依然として不透明で、早期回復に向けた思いきった経済対策が引き続き必要がある。

新型コロナウイルス感染症の影響は、さらに深刻な状況となっている。(印刷)

| | 集計上の分類業種 | 業種詳細・地域 | 組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点) |
|------|----------|---------|--|
| 製造業 | 繊維工業 | 組紐 | 4月は受注残の納品等があったが、5月に入り新たな発注もなく、一次問屋、二次問屋ともに4月より一段と商品の流通が悪化している。例年の流れも6~7月が和装品の端境期となるので、今後に不安がある。 |
| | 印刷 | 印刷 | 新型コロナウイルス感染症の影響は、さらに深刻な状況となっている。雇用の調整や緊急融資の申請を行っている。昨年同月比の売上が50%以上減少している組合員もでてきた。 |
| | 一般機器 | 四日市 | 新型コロナウイルス感染症の緊急非常事態宣言は解除されたが、その間に弱り切った経済状況は悪化の一途を辿っている。この後どうなるのか、全く予想がつかない。 |
| 非製造業 | 小売業 | 自転車 | 先行きへの期待は全く持てない程、打ちのめされている。売るには仕入れがままならず、点検修理整備も人の動きがとめられている中、なかなか売上は増えない。しかし自転車を世界的視野で見ると欧米では非常事態宣言中、有用有益な交通手段として大きく見直されている。世界的な自転車部品メーカーの株価は過去最高となっている。欧米諸国では行政が既に大きく動き出している。 |
| | 商店街 | 熊野市 | 緊急事態宣言の影響は非常に大きく、ほとんどの店舗に大きく影響があった。特に従来なら大型連休になるこの時期にかき入れ時となる観光に携わる事業者は今後のことを含め将来を不安視する者も多い。7月に始まる国の補助施策を期待する声が多いが、今後は継続的な支援策も必要と感じる。 |
| | サービス業 | 警備 | 本年のゴールデンウィークは新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令中であつたため、ほとんどのイベントが中止となり、また公共事業も4月中に終了したため、5月は低調であった。 |